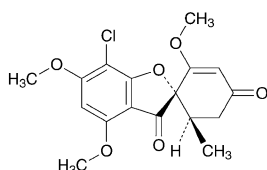


グリセオフルビン

Griseofulvin

C₁₇H₁₇ClO₆ : 352.77

(2*S*, 4'*R*)-7-Chloro-2', 4, 6-trimethoxy-4'-methylspiro-
[benzo[*b*]furan-2(3*H*), 3'-(cyclohex-1'-ene)]-3, 6'-dione
[126-07-8]

本品は日本抗生物質医薬品基準のグリセオフルビンの条に適合する。

性状 本品は白色の結晶又は結晶性の粉末である。

本品は *N,N*-ジメチルホルムアミドにやや溶けやすく、メタノール又はエタノール (95) に溶けにくく、ジエチルエーテルに極めて溶けにくく、水にほとんど溶けない。

グリセリン

Glycerin

グリセロール

C₃H₈O₃ : 92.09

本品はグリセリン (C₃H₈O₃) 84 ~ 87 % を含む (比重による)。

性状 本品は無色透明の粘性の液で、においはなく、味は甘い。

本品は水又はエタノール (95) と混和する。

本品はジエチルエーテルに極めて溶けにくい。

本品は吸湿性である。

確認試験 本品 2 ~ 3 滴に硫酸水素カリウム 0.5 g を加えて加熱するとき、アクロレインのにおいを発する。

屈折率 n_D^{20} : 1.449 ~ 1.454

比重 d_4^{20} : 1.221 ~ 1.230

純度試験

(1) 色 本品 50 mL をネスラー管にとり、上方から観察するとき、液の色は次の比較液より濃くない。

比較液 : 塩化鉄 (III) の色の比較原液 0.40 mL をネスラー管にとり、水を加えて 50 mL とする。

(2) 液性 本品 2 mL に水 8 mL を混和するとき、液は中性である。

(3) 塩化物 本品 10.0 g をとり、試験を行う。比較液には 0.01 mol/L 塩酸 0.30 mL を加える (0.001 % 以下)。

(4) 硫酸塩 本品 10.0 g をとり、試験を行う。比較液には 0.005 mol/L 硫酸 0.40 mL を加える (0.002 % 以下)。

(5) アンモニウム 本品 5 mL に水酸化ナトリウム溶液 (1 → 10) 5 mL を加えて煮沸するとき、発生するガスは潤した赤色リトマス紙を青変しない。

(6) 重金属 本品 5.0 g をとり、第 1 法により操作し、試験を行う。比較液には鉛標準液 2.5 mL を加える (5 ppm 以下)。

(7) カルシウム (2) の液 5 mL にシュウ酸アンモニウム試液 3 滴を加えるとき、液は変化しない。

(8) ヒ素 本品 1.0 g をとり、第 1 法により検液を調製し、装置 B を用いる方法により試験を行う (2 ppm 以下)。

(9) アクロレイン、ブドウ糖又はその他の還元性物質 本品 1.0 g にアンモニア試液 1 mL を混和し、60 °C の水浴中で 5 分間加熱するとき、液は黄色を呈しない。また、水浴中から取り出し、直ちに硝酸銀試液 3 滴を加えて 5 分間暗所に放置するとき、液は変色又は混濁しない。

(10) 脂肪酸又は脂肪酸エステル 本品 50 g に新たに煮沸して冷却した水 50 mL 及び正確に 0.1 mol/L 水酸化ナトリウム液 10 mL を加えて 15 分間煮沸し、冷後、過量の水酸化ナトリウムを 0.1 mol/L 塩酸で滴定するとき、0.1 mol/L 水酸化ナトリウム液の消費量は 3.0 mL 以下である (指示薬 : フェノールフタレイン試液 3 滴)。同様の方法で空試験を行う。

(11) 硫酸呈色物 本品 5 mL に硫酸呈色物用硫酸 5 mL を注意して加え、18 ~ 20 °C で徐々に混和し、常温で 1 時間放置するとき、液の色は色の比較液 H より濃くない。

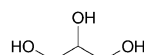
強熱残分 本品約 10 g をるつぼに入れて精密に量り、加熱して沸騰させ、加熱をやめ、直ちに点火して燃やし、冷後、残留物を硫酸 1 ~ 2 滴で潤し、恒量になるまで注意して強熱するとき、残分は 0.01 % 以下である。

貯法 容器 気密容器。

濃グリセリン

Concentrated Glycerin

濃グリセロール

C₃H₈O₃ : 92.09

Propane-1, 2, 3-triol [56-81-5]

本品はグリセリン (C₃H₈O₃) 98.0 % 以上を含む (比重による)。

性状 本品は無色透明の粘性の液で、においはなく、味は甘い。

本品は水又はエタノール (95) と混和する。

本品はジエチルエーテルに極めて溶けにくい。

本品は吸湿性である。

確認試験 本品 2 ~ 3 滴に硫酸水素カリウム 0.5 g を加えて加熱するとき、アクロレインのにおいを発する。

屈折率 n_D^{20} : 1.470 以上。

比重 d_4^{20} : 1.258 以上。

純度試験

(1) 色 本品 50 mL をネスラー管にとり、上方から観察するとき、液の色は次の比較液より濃くない。